

科目名	子どもの食と栄養2(演習)		科目ナンバー	CC-UC1255-C		
担当者 (実務経験名)	教授 木村久江					
履修期	2年 後期			卒業単位	選択 1単位	
免許・資格	保育士必修					
授業概要	生命の維持や健やかな育ちにおいて「食べること」は不可欠であり、乳幼児期の食経験は成長や味覚形成、食事マナー習得の基礎となる。本科目では、幼児期を中心に栄養や食生活の基本を学び、食育に関するグループワークや調理実習を通じて、保育現場で役立つ実践的な知識と技術を修得し、子どもの発育・発達を支える力を養う。加えて、各ライフステージに応じた食と栄養の重要性について理解を深める。					
到達目標	知識・理解	食生活の意義や栄養に関する基本的知識を習得し、さらに子どもの発育・発達と食に関する理解を深める。また、子どもの健やかな育ちに必要な食育の基本と、地域社会や文化と食の関わりについても理解を深める。				
	思考・判断	自分自身の食生活に関心を持ち、食に関する基本的な知識を習得する。また、現代の子どもを取り巻く食環境について学び、子どもの食における課題点などを自ら考えることができる。				
	興味・意欲・態度	様々な食に関する情報に対して、興味や関心をもって講義に臨む。子どもを取り巻く食環境について、新聞やテレビなどの媒体を利用して意欲をもって情報収集する。				
	技能・表現	グループワークなどでは、自分の意見を論理的に説明できるようにする。				
授業計画	授業内容			事前事後学習内容		時間 (時間/週)
	1	オリエンテーション・ライフステージ別の栄養と食生活④ 学童期・思春期		オリエンテーション・前期の復習を行い、教科書の本講義に該当する箇所を予習する		1
	2	ライフステージ別の栄養と食生活⑤ 生涯発達と食生活		教科書の本講義に該当する箇所を予習する		1
	3	食育の基本と内容①		教科書の本講義に該当する箇所を予習する		1
	4	食育の基本と内容②		教科書の本講義に該当する箇所を予習する		1
	5	食育の基本と内容③		教科書の本講義に該当する箇所を予習する		1
	6	食育の基本と内容④		教科書の本講義に該当する箇所を予習する		1
	7	家庭や児童福祉施設における食事と栄養①		教科書の本講義に該当する箇所を予習する		1
	8	家庭や児童福祉施設における食事と栄養②		教科書の本講義に該当する箇所を予習する		1
	9	家庭や児童福祉施設における食事と栄養③		教科書の本講義に該当する箇所を予習する		1
	10	特別な配慮を要する子どもの食と栄養①		教科書の本講義に該当する箇所を予習する		1
	11	特別な配慮を要する子どもの食と栄養②		教科書の本講義に該当する箇所を予習する		1
	12	特別な配慮を要する子どもの食と栄養③		教科書の本講義に該当する箇所を予習する		1
	13	食物アレルギーの基本的知識①(演習)		教科書の本講義に該当する箇所を予習する。実習での経験から園でのアレルギー対策を考える		1
	14	食物アレルギーの基本的知識②		教科書の本講義に該当する箇所を予習する		1
	15	食育演習 (幼児のおやつ)		エプロン、三角巾(レポート提出有) 実習に関する配布用紙を予習する		1
成績評価方法		知識・理解	思考・判断	興味・意欲・態度	技能・表現	評価割合
	筆記試験	○	○			50%
	レポート					
	課題	○	○			20%
	実技	○	○	○	○	20%
	受講状況・態度	○		○		10%
	その他()					
フィードバックの方法	提出したレポート課題は、添削し返却します。					
教科書	イラスト 子どもの食と栄養 東京教学社					
参考書	随時参考資料配布					
アクティブ・ラーニング	保育現場で起こりうる、または実際に起きている事例をもとに、課題解決型学習(PBL)を取り入れた講義を行います。さらに、グループワークでは発表を行い、学生同士で相互評価を実施します。					
ICT活用	スライドを用いて、講義や課題の提示などを行います。					
メッセージ・備考	前期で学んだ内容を活かし、実践的な場面を想定して課題に取り組みましょう。学外実習で経験した食に関する課題を振り返り、自ら改善点を見つける力を養いましょう。					
関連科目	子どもの保健					